

主な内容	
2・3・4面	寄稿
5・6面	維持会費納入者一覧
7面	寄稿
8面	同期会、寄稿
9面	支部総会、寄稿
10面	同窓生の活躍、寄稿
11面	在校生の活躍、同期会、寄稿
12面	お知らせ

# 往復高校向流会報

発行所 佐渡高等学校同窓会  
代表 中山 秀英  
題字 川上治美(昭47年卒)  
〒952-1322 新潟県佐渡市石田567  
新潟県立佐渡高等学校内  
振替 00620-3-805  
☎ (0259)57-2155(代)  
FAX(0259)52-5253



感  
謝

同憲會長  
中山秀英

世界は今、未曾有の災禍に見舞われ、大きな社会変動が起きてます。同窓生諸氏におかれましては、日常生活や経済活動に規制がかかる中、創造性を発揮しながら、お元気にお過ごしのことと拝察申し上げます。

昨年は、新春早々、佐高男子バレーボール部四十二年振り二回目の「春高バレー」出場、そして、バスト応援賞受賞という明るい

い話題でスタートしました。そのわずか十日後、日本でも新型コロナウイルス陽性者の報告があり、我々の生活が一変しました。

令和二年四月に入る」と、母校も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休校を余儀なくされたり、生徒の学校生活に大きな制約が課せられたりしました。

二年連続「春高バレー」

輝きました。男子バレーボール部に象徴されるように、コロナ禍での佐高生は、個々の目標達成に向けて今までにないことを考え、努力を積み重ねました。令和三年三月卒業生の国公立大学合格者延べ人数は、直近五年間で最も多く、その合格率も、直近五年間の平均よりはるかに上回っています。まさに「文武両道」の活躍であり、その姿勢

佐高同窓会の目的は、「会員相互の親睦連携と母校の発展をはかる」であります。

この目的を具現化するため、同窓会員諸氏に多大なるご支援・ご協力をいただいております。

同窓生は、日本や世界で、様々な分野において、社会の発展に貢献しています。そして、佐渡市は勿論、新潟県や県外に多くの支部を設置し、卒業

始まりました。コロナ禍で気付かされたことを生かし、安心安全な「新しい社会様式」で、支部総会等が再開できることを期待しています。

旧制「新潟県立佐渡中学校」時代から連綿と継承されてきた佐高同窓会魂「挑戦と前進」を堅持し、会員挙つて、新しい時代の同窓会を創つていこうではありませんか。

CT環境整備は、極めて重要であります。また、整備された屋内練習場は、部活動等でフル活用され、生徒の個性・能力の伸長、技術・体力の向上、自主性や社会性の育成、豊かな人間関係の構築等を図る場ともなつております。

ご寄附いただいた会員諸氏に、心より感謝申上げます。

同窓会は、グローバル

力強く「同窓会入会の意」を述べています。どんなに社会が変化しようとも、搖るぐことのない、教育の不易とも言える校訓「自主自律」「求真窮理」「協調責任」「誠実感謝」のもと、学んだ後輩たちです。明るい挨拶や思いやりでも知られる母校卒業生の入会は頼もしく、嬉しい限りであります。歓迎の意を表し、会員諸氏とともに

県代表出場を夢見る男子  
バレー部員は、秋までの  
部活動制限という現実を  
受け止め、その中で、最  
善と思う練習を重ねまし  
た。そして、十一月の「春  
高バレー」県予選大会で、

の公立中学校として創立されました。佐高は、未来を拓く青少年に贈る、先人たちの愛とエールの象徴であると思つております。その思いは現在も変わりませ

二ケーションが難しくなつた現在、「会長ホットライン」に貴重な情報や建設的なご意見、激励の言葉等をいただいております。ありがとうございます。

がこれまで以上に活用され、生徒たちの課題解決に大変役立つていると聞いております。

春の卒業生から毎年、在学中に、男女各一名の同窓会幹事を決めており、同窓会活動を円滑に進めることができます。「同窓会入会式」では、新入同窓会員



令和3年度体育祭(6月)。無観客の中、2年振りに開催した。総合、応援、パネル、衣装の部で1位 緑軍。コロナ禍で声を控えめに!! 熱中症対策でマスクはなし。

県代表出場を夢見る男子バレー部員は、秋までの部活動制限という現実を受け止め、その中で、最善と思う練習を重ねました。そして、十二月の「春高バレー」県予選大会で、決勝戦に進み、準優勝に輝きました。

男子バレー部に象徴されるように、コロナ禍での佐高生は、個々の目標達成に向けて今できることを考え、努力を積み重ねました。令和三年三月卒業生の国公立大学合格者延べ人数は、直近五年間で最も多く、その合格率も、直近五年間の平均よりはるかに上回っています。まさに「文武両道」の活躍であり、その姿勢は、本年度の在校生に受け継がれています。

佐高生の可能性が一段と大きく花開いたことは、今後を期待させるものであり、特筆に値する成果であります。

多様な生徒一人ひとりの健やかな学びを保障するため、生徒の希望や実態を丁寧に把握し、協議しながら、組織的にワシントンチームで指導・支援に当たる遠間校長先生はじめ諸先生方に、敬意を表したいと思います。

さて、私は、同窓会長に就任して六年目を迎えるました。

我が母校は、今から百二十五年前、教育の大きな力を信じる島内全町村の人々の強い熱意と要望により、新潟県で四番目

の公立中学校として創立されました。佐高は、未来を拓く青少年に贈る、先人たちの愛とエールの象徴であると思つております。その思いは現在も変わりません。

佐高同窓会の目的は、「会員相互の親睦連携と母校の発展をはかる」であります。

この目的を具現化するため、同窓会員諸氏に多大なるご支援・ご協力をいただいております。

同窓生は、日本や世界で、様々な分野において、社会の発展に貢献しています。そして、佐渡市は勿論、新潟県や県外に多くの支部を設置し、卒業年の枠を超えて交流し、学び合い、高め合うとともに、連携して母校の発展に寄与しております。

全国に張りめぐらされた強力な「知的情報共有基盤」を有する我が佐高同窓会は、大きな誇りであります。

私は、島外の各支部総会や懇親会にも心躍らせ、積極的に出席させていただきました。そして、支部長様はじめ会員諸氏と忌憚のない意見交換をし、貴重なご意見を、会の運営に反映させていただきました。

しかし、同窓会もここ一年余りは新型コロナウイルスパンデミックの影響を受け、大切な総会や親睦会などを制限しておられます。対面でのコミュ

ニケーションが難しくなつた現在、「会長ホットライン」に貴重な情報や建設的なご意見、激励の言葉等をいただいております。ありがとうございます。

希望のワクチン接種も始まりました。コロナ禍で気付かされたことを生かし、安心安全な「新しい社会様式」で、支部総会等が再開できることを期待しています。

旧制「新潟県立佐渡中学校」時代から連綿と繼承されてきた佐高同窓会魂「挑戦と前進」を堅持し、会員挙つて、新しい時代の同窓会を創つていい時代の同窓会を創つていいこうではありませんか。

平成二十八年十月、会員諸氏の絶大なるご支援ご協力を賜り、佐高創立百二十周年記念式典、須藤健一博士の記念講演、祝賀会が盛大に挙行されました。会員諸氏には、島外からもご列席いただきました。母校愛の深さに強き、ありがとうございました。母校愛の深さに強く胸を打たれました。

全国の会員諸氏から寄せられた浄財は、母校の「教育環境の整備」に活用させていただきました。

全普通教室と特別教室に設置した最新ICT機器「電子黒板」は、有効活用され、意欲的に学ぶ生徒と真摯な姿勢で授業改善に取り組む教師が、生徒主体の質の高い授業を創り出しています。コロナ禍では、ICT機器

がこれまで以上に活用され、生徒たちの課題解決に大変役立ついると聞いております。

人工知能、ビッグデータ、ロボティクス等の先端技術が高度化する社会を迎えるに当たって、ICT環境整備は、極めて重要であります。

また、整備された屋内練習場は、部活動等でフル活用され、生徒の個性能力の伸長、技術・体力の向上、自主性や社会性の育成、豊かな人間関係の構築等を図る場ともなっております。

ご寄附いただいた会員諸氏に、心より感謝申上げます。

同窓会は、グローバル（世界）を座標軸に置き、ローカル（地域）のためにも行動できる「グローバル」な生徒の育成のため、今後も支援を続けてまいりと存ります。

毎年、会員諸氏から維持会費を納入いただいています。この維持会費は、「佐渡高校同窓会報」の発行と全会員への発送、各支部総会や同期会補助、各種会議補助、生徒各種大会出場補助在校生対象講演会、同窓会入会記念品、舟崎文庫管理、事務職員賃金など有効かつ厳正に活用させていただいております。維持会費納入会員が増加しつつありますが、今後ともご協力を宜しくお願いいたします。

佐高は、平成二十九年

春の卒業生から毎年、在学中に、男女各一名の同窓会幹事を決めており、同窓会活動を円滑に進めることができます。「同窓会入会式」では、新入同窓会員を代表し、代表幹事が、力強く「同窓会入会の宣言葉」を述べています。

どんなに社会が変化しようと、とも、搖るぐことのない、教育の不易とも言える校訓「自主自律」「求真窮理」「協調責任」「誠実感謝」のもと、学んだ後輩たちです。明るい挨拶や思いやりでも知られる母校卒業生の入会は、頼もしく、嬉しい限りであります。歓迎の意を表し、会員諸氏とともに、新入会員の前途に、エールを送りたいと思います。

日本は今、かつてなく大きな社会変革「ソサエティ5・0」が訪れます。経済発展としています。経済発展と、少子高齢化や地域格差等の社会的課題を解決するための新しい時代を、共に、人間らしく、心豊かに暮らしたいものです。

佐高同窓会も、新しい時代に対応する「少子高齢社会における同窓会の在り方と戦略構築」を探つていこうではありませんか。

同窓会員諸氏のご支援・ご協力に改めて感謝申し上げますとともに、益々のご健勝とご発展を祈念いたします。



春から夏に掛けての日没は遅く、放課後の活動にも余裕があつたが、秋の日没は早く、陸上部での活動も休みがちになり、止む無く退部することになつた。この短い期間ではあつたが、佐高で学んだ技術がその後のスポーツに自信を得た。そのような経験があつて新穂青年団活動や公民館活



学んだ。健康の源はスポーツにあるということを体験を通して確信したのである。思い出はどんな形でも良い。心に残る思い出を作りたいのだ。私にとって大切なことは、スポーツを通して多くの人たちと出会つたことであり、生涯忘れられない強い思い出となつた。

たことは、夢と希望を持つということを学んだ。夢を持ち続けるということは人生にとって大事なことであり、それを目標に努力し生活に励みとなることだと思う。私が小さい時の夢だったオリンピックに出で見たいと思ったのが、小学2年生の時だった。「オリンピックの話」という本を読んだ時のことである。立ちは違うが、障がい者のオリンピックという形で実現できたのである。夢は持ち続けるといつか叶うということを学んだ。

の差で3位かやどたった。当時の大会規定では、一度パラリンピックに出場すると二度と出場できない規定だった。残念でならない。金メダルを目指していただけに悔いの残るレースだった。

## パラリンピックの思い出

山城一雄（昭和31年卒）

私は昭和31年3月に佐渡高校を卒業した。それ以来64年を過ごして来た中で最大の思い出といえばパラリンピックに出場したことである。1964年に開催された東京オリンピックに引き続いて行なわれたパラリンピック東京大会に陸上選手として出場した。

動でも陸上競技や野球等で活動する機会が多かった。何よりも走ることが楽しく、地区のマラソン大会や島外のマラソン大会をはじめ、島内外の各種の駅伝大会にも仲間とチームを組んで参加して来た。知らない人には片手で何が出来るのかと疑問を持たれる人も多いかと思われるが、常に健常者と共に同等にやって来たのも事実である。

1996年4月のハーリンギー東京大会の思い出を振り返ってみたい。前年度の新潟県障害者がい者スポーツ大会で障害別種目の100m走で日本記録を破る新記録で優勝したのが、出場の決定となつた。パ

A black and white photograph capturing a dynamic moment during a long jump competition. The central figure is an athlete in mid-air, having just leaped from a dark starting block. The athlete is wearing a dark singlet with the word "INDIA" printed across the chest and the number "10" below it, paired with light-colored shorts. The background shows a grassy field with several spectators and other participants, some of whom are wearing similar athletic gear. The lighting suggests an outdoor daytime setting.

若者の挑戦を応援する「ひらく」

川上一貴(平成16年卒)

明画の内容は、学校に立てこもった犯人から友人を救うため、主人公が校内に張り巡らされた様々な罠を潜り抜けながら友人を探すという物語で、タイトルは有名映画をひねつて「スクールアローン」と付けた。

大学受験を控えた高校最後の夏休み後半を、毎日のように校内で撮影に明け暮れた。ストーリーの結末をどうするか最後まで議論したり、校舎

思い返せば、そんな差し迫つた時期に言い出す話ではなかつたと思う。しかし友人は自分の熱意に応えてくれた。監督は加藤酒造店の御子息で、映像の編集は摩尼君。クラスメイトや演劇部、文芸部の後輩の力も借りながら出演・協力者を集め、総勢三十人くらいのメンバーが集まり、最終的に文化祭の特別企画として映画製作が認められたのである。

棄却されてしまった。諦めき  
れなかつた私は、誰に相談す  
るでもなく半年かけてこつそ  
り脚本を書き上げ、よりにも  
よつて受験勉強真っ盛りの高  
校三年目の七月に入つてから、  
突然友人へ提案した。「映画を

高校三年生の夏、友人と映画を作った。  
きっかけは一年前、文化祭のクラス企画で映画を作ることが決まり、友人と大いに盛り上がり始めたものの、私たちが作りたかった題材は多数決で



幸いにも 最近の島内の高校生は様々な場面で活躍が目立つ。春高バレーに出場した佐渡高校男子バレー部や羽根高校郷土芸能部はもちろん、佐渡総合高校では模擬会社が設立され、佐渡中等教育学校では「佐渡を豊かにする『中学生 PROJECT』」に少し協力させていただいた。そのども皆、学生たちだけで完結できる活動ではなく、地域の大人の支援を必要としているこれからも引き続き、情熱ある若者のチャレンジにお金と寛容を惜しまない大人であります。

来を考えるなら映画作りを認めず受験勉強に専念するよう指示することもできただろうそもそも西暦2003年当時高校生が撮影機材を揃えることなど不可能に近い。当時の担任だった和田先生が家庭用デジタルビデオカメラと編集用パソコンを惜しげもなく生徒に貸し与えてくれなければ映画は作れなかつた。大人から支えられ、応援された経験があつたからこそ、私自身も今、受けた恩を学生世代に還元したいと思うようになつたのである。



## 維持会費納入者一覽表

ナル久敏カ智久敦夕越淑和永元敏淳有啓久真久義恒道健芳貞和不加之正禎賜昇平佳洋子樂浪ヨツ子徳美子佐佐子董玲ササキ昭三和英昭文亮亮一郎実照正義郎天然

昭和二十九年五月三十日  
本邦ノ映明子ニシテ  
大治ノ昭和二十一年五月三十日  
本邦ノ映明子ニシテ

子江ル子弓子子ミヨ子枝子子子祥子子江美子子子患子熏子英也昭雄天寔吉雄晴明紀男悟富利治朗邦天裕郎光彦熙弘昭一齊嚴男仁郎好雄彥了實輝良治一子天子子エ

池塘名作昌中川桜鈴平村若長青森相村畜齋若櫻浅山山柳矢松益本本本逸藤平平林島長中中中中大高高真清坂齋近計菊等太遠市石石石石青石二限音高飯中柴溝市河野鉢

京代子耀八明三育孝友及宏晉滿卿征三禮社次昭曉沿新秀芳武昌龍教弘忠昌弘校精但照方伸暇塈玲明子央漱イサ征代子惠

本金千渡武多中小戸鷹祝倉樋岩竈池高石屋佐渡渡渡若矢村板町山本本逸畠西中中中中富士土霍知高高田末河須藤佐近神林権金岡岡大土遠打臼上岩石稻石伊伊安若澤葉井辺元田田野田口本藤橋岡敷塗辺辺林田川垣田本間聞見山崎村村川永屋田間本原野津中原田原野々木島子田崎森屋藤越木野見葉塚藤藤藤草見光修三郎正中正部晴明吉輝正中明幸慎喜春邦昇

鬼頭三佐林渡計山木土渡尾三武伊穴波中渡渡山山宮本星羽野長伸辻津高闌杉未須吉酒櫻斎後計中梶掃廣大榎白曰丹岩市石池天齋昭佐小岩浦工羽笠本間北見阿山渡辺藤井草崎二云林藤井草崎二云

山川川畑一屋野崎口武井辺藤タ木代藤藤菅谷田嶋地地上森子子倉藤場江澤田城般村橋野本塙黒田田東里田井昭41西木原田林山川田田武野山田達美間イクヨミ明玲秀登三康二久太克之正昌善久和比憲利敏秀秀正敏大安鯉淳俊憲和喜雅牧文三利民享富俊亨修雅萃美子弘子美枝子斐代美代千鶴孝涼乃子佐子薰子子信子美佐子千鶴英博彦清二夫郎雄郎治一義隆幾雄則吉雄弘明顯夫一准憲孝春臧弘夫一作榮芳作道人彦夫昇彦雄二雄宏晴三助茂春明一

伏深大安中山永山村渡石野山深村松本本広平日畠畠高田小川川笠岡大小小江石伊伊赤【昭下金池仲道首藤白川野村中川渡渢野原葛野長谷谷山須板倉倉原岡渡邊野本間間根田川間野玉原倉戸門原見見平田川浦本川浦辺川口田見尾田間間田野中栗野中山原端木崎屋田川口原藤藤石5656美恵子江美子聖子仲子聖子英弘美子由喜子真光子三晃子智郎浩一良博浩夫一和広義治光悟隆二妙子信子由美子前田澤田近藤昭5555富田智惠子田澤田近藤昭5555富田智惠子

【令和2年度 埼立佐渡高等学校同窓会決算書】

(収入の部)

令和3年3月31日現在

項 目		予算額	収入済額	増 減	摘 要
1 繰 越 金	前年度繰越金	699,491	699,491	0	
2 会 費	入 会 金	916,000	915,000	△ 1,000	3学年1人進路変更
	維 持 会 費	4,725,000	5,245,480	520,480	
3 書籍販売	百 年 史	6,000	12,000	6,000	@3,000×4冊
	そ の 他	10,000	15,000	5,000	「同窓のおとづれ」@5,000×3冊
4 寄 付 金	寄 付 金	10,000	8,266	△ 1,734	
5 そ の 他	預 金 利 子	4	13	9	
	そ の 他	3,300	3,300	0	徽章販売 @3,300×1
収入合計		6,369,795	6,898,550	528,755	

### (支出の部)

項 目		予算額	執行額	残 額	摘 要
1 運 営 費	人 件 費	300,000	260,760	39,240	事務局職員賃金
	事 務 費	60,000	32,970	27,030	消耗品代
	通 信 費	30,000	11,769	18,231	はがき、切手代等
2 会 合 費	会 議 費	50,000	46,806	3,194	役員会旅費
	総 会 費	400,000	0	400,000	
	会 合 費	1,200,000	184,570	1,015,430	支部総会・同期会補助・役員出席旅費
3 広 報 費	広 報 費	3,300,000	3,030,544	269,456	同窓会報
4 慶弔記念費	慶弔 費	50,000	0	50,000	
	入会記念費	150,000	144,845	5,155	卒業証書ホルダーほか
	転退職員記念費	40,000	0	40,000	
5 学校後援費	施設整備費	10,000	0	10,000	
	生徒活動費	500,000	37,000	463,000	北信越大会・全国大会出場選手激励費
	講 演 会 費	20,000	0	20,000	
6 舟崎文庫	舟崎文庫費	80,000	33,583	46,417	獅子ヶ城会館電気料
7 雜 費	雜 費	5,000	0	5,000	
8 積立金	特別会計積立金	0	0	0	
9 予 備 費	予 備 費	174,795	0	174,795	
支出去合計		6,369,795	3,782,847	2,586,948	

輪倉平木本渡内脇安昭子井多子間部山野澤留砂厚直由  
金石島原端田野藤原澤60  
内池安昭子井同登井間松本川屋野長原端60  
藤橋中土長高田桑川小池安昭子井多子間部山野澤留砂厚直由  
河山本原久儀山松本濱橋中土長高田桑川小池安昭子井多子間部山野澤留砂厚直由  
飯藤井昭井治下間住同登井間松本川屋野長原端60  
今坂井井田61美知博雅春里革智敏一茂雅弘喜賀博士園青洋正砂厚直由  
大大今坂井井田61美知博雅春里革智敏一茂雅弘喜賀博士園青洋正砂厚直由

彦涉一忠樹厚子子代み子代美精徹樹弘郎悟裕一已真徹一彰徳之通華子枝子織宏史均司夫  
高富村渡三本野鳥市石池浅山本木春菊橋金猪舛字山市浜山本木林中土高齋後児小金  
野澤山辺浦間口井屋田野塚田嶋昭口間間山地口杉保谷田口橋本間川屋橋藤玉  
羊香久吉士一英俊喜和正門宗62美理タクメ佐忠勝悦知東事社幸惣一正健白中至二丘

渡本塙野根中鶴高未佐大平島野早梶猪田菊木飯渡谷水本野木田田杉佐後小計大白伊昭田野邊間口岸川間野武々宮桃平島川羽中地下森邊地口間崎口村中中本藤林良林杵藤63美友

直賢	博文	慶孝	智水	弘昭	山一	卒	來繩	明朋	典奈	美直	清美	健和	正昭	克幸	道英	修朋	英健	英捷	志	美子
樹祐	樹雄	久嘉	宏	將章	暢澄	浩	子	美	紀子	美子	美夫	治德	宏裕	雄利	明淨	直治	幸章	太二	英志	子
北菊	景小	渡堀	田土	酒佐	後藤	大石	若林	佐々木	真木	本木	本間	星保	野崎	川藤	佐藤	金子	加大	尾伊	木	木
見	地	山田	邊口	中屋	井藤	水保	平川	303	木美	木山	間	科	藤	友	藤	子	伊藤	佐々木	菊地	村
あ	祥	蘭園	若健	左智	賢正	康正	自	自	美	木	木	本	本	木	木	木	野	長村	久美	久美
す	ら	らん	わ	さ	けん	こう	し	し	ま	ま	ま	ま	ま	ま	ま	ま	や	な	ひ	ひ

岩平星信高大石鈴山関金安平大上樋金山安武本樋土坂後稻石天平鶴岩山末後笠石飯平渡古嵐原田中見木田根田藤平村山口子本田藤多賀下藤葉川池平間崎子田武藤井塙田平邊坂田07.06.05.04.貴与

渡藤關齋加近<sup>平</sup>中渡山兒加<sup>平</sup>島橋<sup>平</sup>松計松伊松中岡高川金<sup>平</sup>中山菊引富閥高金<sup>平</sup>本中菊金原  
秀論卒<sup>平</sup>是利一一<sup>平</sup>香耶直弘正<sup>平</sup>雅篤鐵陽好<sup>平</sup>久香清<sup>平</sup>朋敏真貴<sup>平</sup>直昌友俊正紀浩銅  
苗史卒<sup>平</sup>な子惠真良森豐<sup>平</sup>織香美道郎<sup>平</sup>純之史平介<sup>平</sup>美織惠守之悟直吾晴<sup>平</sup>美也彰明洋久司

石門村松木岩山佐加小石山中間高加遠山齊清徳田食全石森本市武高首小鹿高佐金岡

平野加藤田崎井本川平藤田崎井本川平藤  
山下藤下見股屋内子崎平谷本間内加奈美  
高橋瀬濱市内加奈美江寿子雅弥亮康幸  
高崎平子内間喜江美平朗矩美世花幸  
平野加藤田崎井本川平藤田崎井本川平藤  
山下藤下見股屋内子崎平谷本間内加奈美  
高橋瀬濱市内加奈美江寿子雅弥亮康幸  
高崎平子内间喜江美平朗矩美世花幸

中鈴川藤日梶	澤木早川木	木下平坂原	木平	木嶋田	木清坂	坂本	坂上	坂齊藤	坂若林	坂森谷	坂菊池
川木端上井野田	平田	平坂原	平	平嶋田	平中地	中地	中地	中地	中地	中地	中地
27	26	25	24	23	22	21	20	29	28	27	26
晴香里志伸真樹生	終貫卒	夏麻太	峻	美奈子	榮	駿	新	風真帆	若林	健	和人
奈里江穂行木生	季乃	桂海佳郎	立	雅里	志也	介	悟	知友	川原	工藤	宇留間

本村平川間  
寺若矢谷高齋  
平崎武藤藤端野  
島林田川田藤29  
平岡門岡星30  
波江露臺大箭衣達  
朱真岳洋望陸介瑞  
伯裕正真友圭祐  
季昌登裁郎  
美光孝祐誠弥一  
和洋子一郎  
大琴和夏大光孝  
波桂夢乃直澄吉光翼介











## 同窓会発行の書籍について

佐渡高校同窓会発行の書籍の在庫があり、下記の価格で頒布しています。(知り合いで歴史に興味のある方がいましたら、ご紹介下さい。)



▼問い合わせ・購入は同窓会本部事務局まで  
(電話 0259-57-2155)

- 同窓のととずれ 送料込 5,000円
  - 佐渡高等学校百年史 送料込 3,000円
  - 近世先賢書簡集(萩野由之博士蒐集) 送料込 10,000円
  - 伊藤氏日記 送料込 5,000円

# 令和3年度 同窓会役員名簿

評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	金泉支部長	高千支部長	相外海府支部長	兩外海府支部長	内海府支部長	加茂支部長	両津支部長	
立壁邦敬子	関川ミチコ	山本祐義	梅村義子	摩尼晴	中山道子	和泉健夫	須藤徹	浅島健一	今井茂誠	山本雅樹	地島明	中嶋正明	木村和光	市橋嘉彦
立壁邦敬子	関川ミチコ	山本祐義	梅村義子	摩尼晴	中山道子	和泉健夫	須藤徹	浅島健一	今井茂誠	山本雅樹	地島明	中嶋正明	木村和光	市橋嘉彦
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員
岩崎隆寿	小浜安夫	川上治	関根敬子	加藤尚子	渡辺健子	村田慶尚	大崎直朗	大崎直樹	寺藤恭子	寺藤恭子	寺澤正紀	金森大蔵	金山大蔵	北見千香子

## 寄贈図書抄

令和2.7月～令和3.7月

著書名	著者名	寄贈者	年月日
季刊 朱鷺 第46~49号	赤塚 五行	赤塚 五行(昭和44卒)	R2.10
HARUKO JANUARY 2020	春高バレー	佐渡高校	R2.11
日本の命運 ~戦後の日本経済史~	本間 栄三郎	本間 栄三郎(昭和00年卒)	R3. 1
佐渡の戦国時代 校正久知軍記	矢田 求校正 若一王子神社遷座6百年記念誌	矢田 有年(昭和28年卒)	R3. 6
佐渡本間氏祖廟 佐渡本間物語	山中 観一	矢田 有年(昭和28年卒)	R3. 6
佐渡の吹く風	大阪 三郎	矢田 有年(昭和28年卒)	R3. 6
其蜩庵にて候	椎 隆信(昭和28年卒)	矢田 有年(昭和28年卒)	R3. 6

訃

報

令和2年8月から令和3年7月末日までに事務局に連絡のあつた方々です。生前のご厚誼を深謝し謹んでご冥福をお祈りいたします。

編集後記

◆同窓会の皆様には、同窓会事務局にいつも温かいで支援してご理解をいただきまして、厚くお礼申し上げます。前年度につきましては、その前の年よりも更に100名近く多くの方が、会費を納めてくださいました。年々会費

◆変異株の新型コロナウイルスの影響もあって、前年度以上に拡大防止対策が強まり、今年度も支部総会が開けない状況です。しかし、6月の幹部会では2年連続で同窓会総会を開かないのはあまり好ましくないと考え、今年度の総会につきましては、懇親会は行わないで、人数制限も考慮し、各支部から支部長を含めて3〜4人ほど来て頂き、支部長・評議委員会を拡大したような形で行うことになりました。非常に残念なことはあります、会員の皆様のお身体を一番に考えての配慮ということですが、ご理解をいただきたいと思います。また、落ち着きましたら、会を開いていただきたいと思っています。

◆今回も会員の皆様の後押しにより、無事会報の発行いたしました。同窓会長の挨拶につきまして、事情により松井夫佐子副会長が代筆しました。

※会報の原稿をお送りいただいた場合、六月末日までにお願いいたします。